



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ  
「世界へのプレゼントになろう ( Be a gift to the world )」  
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

2015~16 年度 関ロータークラブテーマ  
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2415 号

平成 28 年 5 月 10 日 (火)

### 前例会の記録 第 2414 回 4 月 26 日(火)12:30

「地区研修協議会の報告」

大岩寿喜子さん・加藤照彦さん・西田泰幸さん

- ◆開会点鐘
- ◆「四つのテスト」斉唱
- ◆会長挨拶 藤井淳



熊本県を中心に相次ぐ地震で被害が拡大していますが、4月19日(火)の読売新聞配信の記事から岐阜県内の支援の動きを紹介したいと思います。

■支援物資の面からは、職員2人を現地へ派遣していた美濃加茂市は18日夕、市長同士が全国青年市長会のメンバーという縁で、被災した大分県別府

市に米870キロ・グラムなどを送りました。関市では18日未明、飲料水や簡易トイレなどを積み込んだトラックで、職員2人が熊本県阿蘇市へ向けて出発した。同市内の阿蘇神社にあった宝刀の復元プロジェクトを通して関市の刀匠らとの交流があり、支援を決めたそうです。同県菊池市と災害時相互応援協定を結ぶ海津市も、ペットボトル水などを送る予定です。また、民間活動団体(NGO)「子供救済センターこの指とまれ」(羽島市)はおむつや離乳食などの支援物資を集め、20日午後5時に被災地に向けて出発しました。レトルト食品や菓子類のほか、送料のカンパも受け付けています。

■医療の面からは、岐阜県内5病院の災害派遣医療チーム(DMAT)も18日派遣されました。岐阜、大垣、中津川の3市民病院や岐阜大、木沢記念(美濃加茂市)の計5病院の医師や看護師ら計27人。19、20の両日、現地の医療機関などで活動する予定です。

■義援金に関しては、岐阜県は18日、県庁舎や各地域の総合庁舎などの32施設に募金箱を設置し、災害義援金の受け付けを始めました。期間は6月30日までを予定。日本赤十字社を通じて被災地に届けるということでした。

■また岐阜県は災害支援対策本部(本部長・古田肇知事)を設置し、18日に県庁で第1回会議を開いた。会議では、県警の警備部隊約50人を派遣し、17日に熊本県益城(ましき)町で活動を開始したことなどが報告されました。

一方で、個人的に支援物資を提供する事に関しては、注意が必要です。物資が不足するのは、物資が無いからではなく、交通やライフラインが断たれているためです。供給ルートが立ち直ればすぐに大量の物資が被災地に届きます。逆に被災地へのルートが寸断されている限り、個人で物資を送っても、被災者には届きません。物資を送っても、被災地に届くまでに数日かかり、その間に被災地で必要なものは変わることがあり、送るときに注意が必要です。受け取り手がなくなった物資は、被災地で不良在庫になります。同じ箱に衣類や学用品や食料をまとめて詰め込んだものは、開封して仕分けないと配布も出来ず、人手が足りない災害時にはかえって面倒をかけてしまいます。総動員で被害の確認や避難所の運営に当たっている被災自治体の職員に一層の負担を強いることになります。物資には保管料もかかります。最後の最後まで余った物資は廃棄処分することになりますが、阪神・淡路震災ではある自治体で物資の処分に2,300万円かかったそうです。被災地区の税金を使って処分しているのですから、こうなるともはや二次災害です。以上のようなことを考えると、我々のできることは義援金を送り、それを現地で有効利用してもらおうのが、現時点では一番良い方法であると感じました。このため、後日、会員の皆様には熊本への義援金をお願いする予定ですので、その節は宜しく願いいたします。

### ◆委員会報告

◎出席委員会 委員 塚田浩孝

会員46名中 出席17名 出席率 38.64%

◎ニコボックス委員会 委員 西本理美

会長・副会長・幹事の皆さん...4月17日の地区研修協議会、お疲れ様でした。3名の発表者様、よろしくお願ひします。

次期会長、副会長、幹事の皆さん...4月17日高山で行われた地区研修協議会に8名で行って来ました。本日発表者の皆様ご苦勞様です。次年度がいよいよ始まって参りました。50周年一致団結して会員全員で作りに上げていきますのでよろしくお願い申し上げます。

山村、堀部、長尾、山谷、後藤、林(昇)の皆さん...高山での地区研修協議会の参加ご苦勞様でした。発表者の方々よろしくお願ひします。

## ◆「地区研修協議会の報告」 大岩寿喜子さん



物事には全て原理原則があり、その原理原則は時空に関係なく、必ず成りたつものです。ロータリーの原理原則を考えたとき、1923年の国際大会議決によって認識し明文化したセントルイス大会「決議23-34号」がそれにあたると考えられるそうです。ロータリーには、いろいろな側面があり、ロータリアンの考えもロータリーをどう捉えるかによ

って100人100様です。が、「決議23-34号」をロータリーの原理原則と定義すると、ロータリーとは、「思いやりの心」「助け合いの心」であるという考えに至り、『奉仕の理念＝「思いやりの心」と「助け合いの心」』この心は全ての人の中にあるが、資本主義の厳しい自由競争の中にいると利己主義になりがちで、それらを抑え、人間本来が持つ「思いやりの心」と「助け合いの心」で私たちの身の周りを潤していくのがロータリーの考え方ではないでしょうか。

「思いやりの心」「助け合いの心」で

○クラブを潤していくのが『クラブ奉仕』

○仕事に従事するのが『職業奉仕』

○地域社会、国際社会を潤していくのが『社会奉仕・国際奉仕』

○青少年に植え付けていくのが『青少年奉仕』であり、その「思いやりの心」「助け合いの心」を作り、ロータリアンとしての人格を形成する唯一の場所が、例会場であるといえます。ロータリー活動は、例会出席から始まり、親睦を深め奉仕の心を高め、職業・社会・国際・青少年奉仕の実践へと繋がっていきます。ですから、先ず例会出席です。『One Profits most who attends most』最も出席するもの最も報いられるを「地区活動方針テーマ」とします。そして、地区目標は次の4つです。

- 1、地区内少なくとも51%が会長賞を受賞する
  - 1、地区財団活動資金（DDF）の少なくとも20%をポリオプラスに寄贈する
  - 1、年次基金への寄付を前年度よりも5%増やす
  - 1、地区全体の会員数を3%増やす
- 「クラブ目標」は会長賞に挑戦しよう！です。会長賞は2つの必須活動と6つのカテゴリーからの選択活動の達成クラブに与えられる賞のことです。
- 2つの必須活動とは、
- ロータリークラブセントラルで少なくとも10の目標を設定する
- 7月と1月のRI半期人頭分担金を期限までに（遅延無く）支払う
- 6つのカテゴリーとは
- 1、会員増強と維持
  - 1、財団への寄付
  - 1、オンラインツールの利用
  - 1、人道的奉仕
  - 1、新世代
  - 1、公共イメージ です。

## ◆「地区研修協議会の報告」 加藤照彦さん



4月17日（日）の地区研修協議会の報告をさせていただきます。会場は、高山市 飛騨・世界文化センターで、桜が満開の中、開催されました。12時より開会宣言の後、特別出席者の 劔田ガバナーエレクトの点鐘で始まりました。劔田氏は挨拶で「物事にはすべて原理原則があ

り、ロータリーにも原理原則がある。この激動の時代、組織が生き残っていく為にロータリーの本質を見据え変化への対応を常に考え、原理原則に基づいた判断を求められる。そして、ロータリーの原理原則とは、『思いやりの心』『助け合いの心』であるという考えに至った。『思いやりの心』『助け合いの心』＝『奉仕の理念』で、その心を養う為には、まず例会に出席する事。親睦を深め奉仕をする。『最も出席するものが、最も報いられる』。これが私のロータリーの信条です。と、結ばれました。ガバナー挨拶、地区現況報告の後、9部門に分かれての分科会でした。私は、職業奉仕部門に参加させていただきましたが、ロータリーの根本である奉仕の理念について学び、また新会員様の貴重な意見を聞くことが出来ました。最終はパネルディスカッションが壇上にて行われ、テーマである卓越した活動事例、またRI会長賞受賞の実体験を基に、他クラブの活動を教えていただきました。修了証書授与、講評、挨拶があり、17時10分の点鐘で閉会いたしました。貴重な体験ができたことに感謝いたします。ありがとうございました。

## ◆「地区研修協議会の報告」 西田泰幸さん

RI会長エレクトが掲げる指針



『人類に奉仕するロータリー』2016-17年度国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム氏が思い描くロータリーの行動指標は今研修会の中で2016-2017年度第2630地区ガバナー 劔田 廣喜氏（高山中央RC）により基調講演の中で述べられました。私なりの解釈を以下に記します。ジャーム氏は国際ロータリー

（以下RI）は今、変化を迫られている節目にあり、まずその存在する意味を世界に向けて明らかにすべきであると考えています。そこで氏はRIの始祖であるポール・ハリス氏が『人生の最大の幸福は人類に貢献することである』という信条をロータリアンは共有し、個人の努力とは別に大勢の努力を奉仕の共通目標に向けて結集せよ。と述べたことを引き合いにして『人類に奉仕するロータリー』という行動指針を宣言しました。そしてその戦略は、

- 1) RIが世界でもっとも「よいこと」を推進しえる団体として認められるべく、目下注力しているポリオ撲滅運動を成し遂げる。
- 2) その成功をバネに世界を変える力がロータリーにあるということ让世界にひろく認知させる。
- 3) 認知により会員の増強と維持が結実する。
- 4) そこから次世代のリーダーとなるロータリアンを育てるあるいは見いだす
- 5) 具体的な戦術として会長賞への積極的な挑戦を促す。

と、このような具合で理解して参りましたがいかがでしょうか。

## ◆幹事報告

◎5月の例会予定表配布

◎5月のロータリーレート 1ドル：110円

次例会のご案内 5月14日（土）

「ジャズ例会」 5/24の変更

於：スタジオ・ナイスナイス 45

担当：ロータリー情報委員会

\*\*\*\*\*  
例会：毎週火曜日 12:30（第3週は水曜日に18:30）  
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F  
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ 2F